

## 「がん対策基本法改正案に関する国会議員アンケート」議員別ご回答結果

一般社団法人全国がん患者団体連合会（全がん連）は、2016年6月1日より全ての国会議員の皆様を対象に、「がん対策基本法改正案に関する国会議員アンケート」を実施しました。

本用紙は、ご回答をいただいた国会議員の皆さまについて、議員別にその内容を記したものです。がん対策の推進に関心をもっていただき、ご回答をいただいた議員の皆さまに感謝申し上げます。国会議員のご回答一覧は、全がん連ホームページで公開しています。（ホームページアドレス：<http://zenganren.jp/>）

————— 国会議員アンケートご回答結果ここから —————

### 国会議員名

大野 元裕 （参議院議員／民進／埼玉）

**問1** 超党派議連「国会がん患者と家族の会」より提案される予定の「がん対策基本法改正案」について、次の臨時国会での早期成立が必要と考えますか？

はい  いいえ  その他

#### 【その他の場合のコメント】

公聴会、有識者会議などで、幅広い意見集約の上で、成立させるべき。

**問2** 第24回参議院議員通常選挙（6月22日公示、7月10日投開票）に関して、政党のマニフェスト（選挙公約）などで「がん対策の推進」に関する内容が重視されるべきと考えますか？

はい  いいえ  その他（ ）

#### 【その他の場合のコメント】

安全保障や景気対策、TPPなどの争点で選挙は戦うが。

**問3** がん対策の推進に関してご意見があれば、自由にご記入ください。

#### 【自由記述欄】

大野もとひろ事務所のメンバーの中にも、がんで親や友人等を亡くした者が多いので、本テーマは大変重要と理解しております。特に、改正案の第15条の緩和ケアを明確に定義し、17条にて緩和ケアを適時に受けられるよう定めている点は、早急に対応すべきと共感致しました。国民の関心の高いテーマの一つとして、がん患者のQOLの向上に邁進してまいります。